

レジメン名	Pembrolizumab
対象疾患	がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する固形癌
1クールの日数	21日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	キイトルーダ [®]		200	mg/body	div	30分	d1
2							
3							
4							
5							
6							
補足							

催吐リスク	最小度
前投薬	
減量規定	Grade2以上で休薬：間質性肺疾患、大腸炎/下痢、肝機能障害、腎機能障害、内分泌障害/1型糖尿病、infusion reaction 上記以外の副作用は以下に示す場合に中止 Grade4又は再発性のGrade3の副作用、Grade3以上の心筋炎、脳炎、ギランバレー症候群、副作用処置としての副腎皮質ホルモン剤をプレドニゾロン換算で10mg/日相当量以下まで12週間以内に減量できない場合、12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合
主な副作用	悪心、食欲不振、下痢、倦怠感、掻痒症、発疹、発熱、関節痛 ※注意を要する副作用 間質性肺疾患、大腸炎、小腸炎、重度の下痢、重度の皮膚障害、神経障害、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎、甲状腺機能障害、下垂体機能障害、副腎機能障害、1型糖尿病、腎機能障害、膵炎、筋炎、横紋筋融解症、重症筋無力症、心筋炎、脳炎、髄膜炎、重篤な血液障害、血球貪食症候群、結核、ぶどう膜炎、infusion reaction
参考文献	適正使用ガイド（キイトルーダ） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	インラインフィルター使用 最終濃度1~10mg/mLに調製

投与スケジュール

Day (1)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL キイトルーダ注 1日1回 インラインフィルター使用	1本 200mg	30分